

長きにわたり、信州大学における e-Learning 推進と e-Learning センター発展に寄与された東原義訓先生が 2020 年 3 月で任期を終えられました。

裏面には、教職員の皆様がご自身で eALPS に動画を掲載する方法をご紹介します。この方法は、動画ファイル以外でも活用できますので参考になさってください。

contents

e-Learning center Newsletter No.36

- 信州大学における e-Learning の創成から発展まで
- eALPS の動画掲載について
- information
eALPS 相談会・研修会をオンライン開催しています

信州大学における e-Learning の創成から発展まで

定年退職を機に信州大学の e-Learning の歴史を書き留めておくようにとの指示をいただいた。私の記憶の範囲でよいとのことであったので、お引き受けすることにした。

信州大学の e-Learning の歴史は、次の 3 つのステップを踏んできたように思う。

第 1 期：Web サイトの教育利用開始

第 1 期は、それぞれのキャンパスで関心のある教員らによって自然発生的に e-Learning の創成期的な開発と活用が始まった時代である。当時、最も有名になったのは若里を拠点とするインターネット大学院 (2002) であったように思う。



東原義訓 (ひがしばら よしのり)
初代 ICT 活用支援部門長

私個人の経験としては、共通教育の主題別科目「IT 革命」という講義で、e-Learning の真似事を 2000 年から 2 年間試行した。毎回、学外から IT 化を推進している組織・団体の IT 化責任者を松本キャンパスに招き、各地キャンパスと TV 会議システムである SUNS で接続して講義をしていただくものであったため、講義資料は Web サイトに掲載した。

講義終了後も外部講師への質問ができるよう Web 掲示板と授業記録を授業ノートとして提出する掲示板を用意した。毎回、キャンパス毎に学籍順番順に 2 名に授業ノートの提出を求め、また、必ず質問をする学生がいるように当番質問制にした。ありがたいことに外部講師の先生方は、献身的に掲示板を介して回答して下さった。

今日のような e-Learning 専用のシステムはまだ一般的でなかったため、Linux 上に簡単なツリー構造の掲示板システムと html による Web ページとして手作りで学習支援システムを構築した。「IT 革命」の授業専用のシステムであり汎用性はなかった。それでも、5 キャンパスを接続し、SUNS を併用することで同期と非同期で講師と学生との双方向型の授業を実施することができた。

第 2 期：e-Learning センターの創設

第 2 期は、松本キャンパスの教育システム研究開発センターに e-Learning を担当する教員を配置し (2002)、信州大学としての本格的な e-Learning システムの構築と試行に着手した時代である。

この頃になると LMS (Learning Management System) と呼ばれる e-Learning 専用のシステムが利用できるようになってきており、どのシステムを信州大学として選択するのが最適かが当面の課題となった。この選択に貢献してくれたのは、教育学部としてのデジタルコンテンツの開発を担当していた教育学部附属教育実践総合センターのスタッフであった。世界で活用されていた代表的なシステム 3 つを選択し、それぞれを熟知するまで試行し、全学の関心ある教員を対象に、各システムのデモンストレーションを実施してくれた。その結果、信州大学としての最初の e-Learning システム“eALPS”は Blackboard によって開始されることになった (2003)。

一方、e-Learning で欠くことのできないデジタルコンテンツの制作とその利用を促進するプロジェクトが展開された。文部科学省の現代 GP の一環としてのプロジェクトである。不破泰氏 (現・工学系教授) をリーダーとする「信州大発“学び”のビッグバンプロジェクト」(2004) により、全学として取り組み、多くの e-Learning コンテンツが制作された。私の所属していた教育学部もその恩恵に預かり、市澤静山氏 (現・信州大学名誉教授) の書道コンテンツなど専門性の高い動画コンテンツが多数制作され利用された。

第 3 期：当たり前になった e-Learning

第 3 期の 2007 年になると、教学担当の副学長をセンター長とした e-Learning センターが創設された。2008 年からは Blackboard に代わり Moodle による e-Learning システム“eALPS2.0”の運用が開始された。それ以来、信州大学にとって、e-Learning システムはなくてはならない存在になり、2010 年には研究開発運用部門と ICT 活用支援部門が設置され、現行の“eALPS”となった。

(初代 ICT 活用支援部門長 東原義訓)



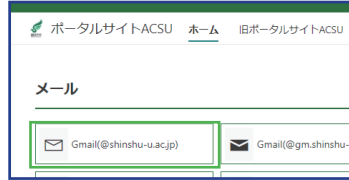
東原先生は、e-Learning センター発足前から信州大学の e-Learning 推進にご尽力くださいました。また、センター発足後は、副センター長、ICT 活用支援部門長等をお務めになりました。長い間ありがとうございました。

eALPS の動画掲載について

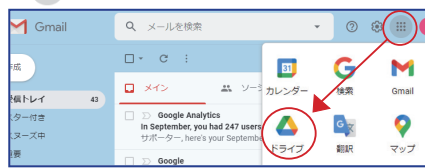
Google Drive にアップロードした動画ファイルを共有して eALPS 経由で公開できます。Google Drive の共有設定機能を使って、ダウンロードを不可にし、信州大学のアカウント【@shinshu-u.ac.jp】を持つユーザーに限定して公開する方法をご紹介します。 *ポータルサイト ACSU の利用には Google Chrome の利用を推奨しています

1. 動画ファイルをアップロードする

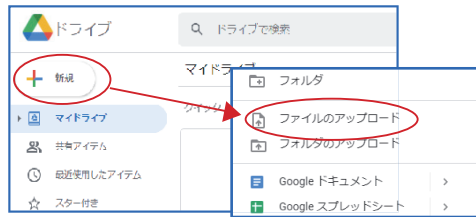
① <ポータルサイト ACSU> にログイン
⇒【Gmail (@shinshu-u)】



② 歯車アイコンをクリック⇒【ドライブ】

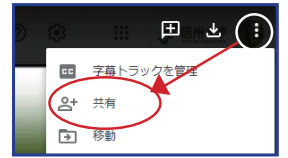


③ 新規 + 新規 ⇒【ファイルのアップロード】から掲載したい動画ファイルをアップロード

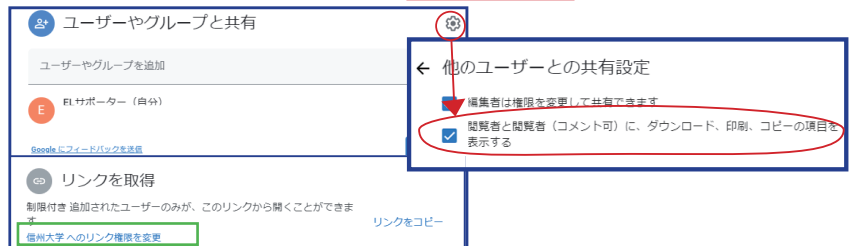


2. 共有設定を行う

① アップロードした動画を再生⇒ 歯車アイコンからメニューを表示させる⇒【共有】



② 【ユーザーやグループと共有】画面の歯車
⇒他のユーザーとの共有設定画面を表示させる
⇒【閲覧者と閲覧者（コメント可）に、ダウンロード、印刷、コピーの項目を表示する】の**チェックを外す**



③ 青字【信州大学へのリンク権限を変更】をクリック

④ 【信州大学】・【閲覧者】にチェックが入っていることを確認⇒青字【リンクをコピー】
*ここでコピーしたリンクを eALPS に貼り付ける



⑤ 【完了】 をクリックして共有設定の作業は終了

3.eALPS のコースにリンクを示す

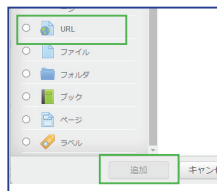
① 動画を公開したい eALPS のコースに入り【編集モードの開始】



② 【活動またはリソースの追加】



③ 【URL】 ⇒【追加】



④ 【外部 URL】欄に、手順「2-④」でコピーしたリンクを貼り付ける⇒【保存してコースに戻る】

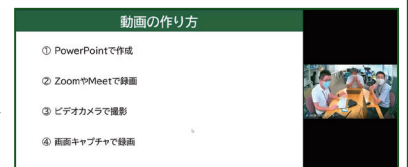


*上記の共有設定は、動画以外のファイルにも可能です。eALPS に提示したい資料ファイルで、学生にダウンロードされたくない資料を公開する際に活用いただくことができます。

e-Learning Center

eALPS 相談会・研修会をオンライン開催しています

多くの授業がオンラインで開講され、eALPSを活用いただく機会が増えております。これまで利用したことのないeALPSの各種機能や、掲載する著作物について問合せが多く寄せられています。そこで、e-Learningセンターでは、オンラインでの相談会・研修会を開催しました。引き続き、相談会・研修会開催の希望を受け付けていますので、メールでご連絡ください。



画面共有をした相談会の様子

農学部

5/25 開催
eALPSに掲載する資料の著作権に関して

繊維学部

7/29 開催
eALPSの機能について事前に寄せられた質問に回答

グローバル化推進センター

8/21 開催
部局内で類似の疑問点があり、非常勤講師が多く、情報共有のため

医学部保健学科

9/2 開催
データダイエットのお願ひ、動画掲載方法についてのご案内

工学部

9/7 開催
データダイエットのお願ひ、動画掲載方法についてのご案内